

平成 2 8 年

第 3 回仙北市議会臨時会

市 政 報 告

仙 北 市

平成28年第3回仙北市議会臨時会を招集したところ、議員の皆様にはご出席を賜り誠にありがとうございます。

それでは、前回定例会後の主要事項並びに諸般の状況等を報告します。

◇カラ吹き源泉事故慰霊式について

昨年3月18日に発生した「カラ吹き源泉事故」から1年が経った先日18日、休暇村乳頭温泉郷前駐車場を会場にカラ吹き源泉事故慰霊式を開催しました。式にはご遺族や市議会の皆様、関係者など約70人が出席し、再びこのような事故を起こさないよう安全な作業体制を誓い、犠牲者のご冥福をお祈りしました。

青柳議長を始め、多数の議員の皆様の出席をいただきありがとうございました。

◇ジャパンドローン2016について

3月24日、千葉市の幕張メッセで開催された「ジャパンドローン2016」に参加し、内閣府の藤原豊地方創生推進室次長、熊谷俊人千葉市長と一緒に「開発用テストフィールドと国家戦略特区」と題した講演を行いました。

ここではドローンの実証エリアの紹介、また今後の活用の方向性などを説明し、4月11日を予定している学校図書館のドローンによる配送の実証試験、7月末に開催を予定しているドローン競技会についてお話しをしました。

同時開催の国際総合展示会では、これまでご指導をいただいていた企業との情報交換や、活用の可能性がある企業への実証エリアのPRを行いました。この際、初めてお会いした企業からも技術開発の場として仙北市を検討したい旨のお話しをいただくことができました。今後、さらに情報の精査に努めます。

◇仙北市と株式会社わらび座との「包括連携協定」の締結について

3月23日、仙北市と株式会社わらび座との「包括連携協定」締結式を行いました。わらび座からは小島克昭会長、山川龍巳社長に出席をいただき、青柳議長には立会人を務めていただきました。

協定内容は、「小さな国際文化都市」を実現するため、文化の振興、国際交流、移住定住、観光振興、健康増進、災害対策など多方面にわたっています。

今後は、それぞれの強みと特色ある分野を活用し、お互いのメリットにつながる活動を展開します。市としてはわらび座が有する世界的な人脈を提供いただきながら、市職員の接遇や表現力を上げるための研修、またヘルスツーリズムの推進などにもご協力をいただきたいと考えています。

◇新市建設計画の変更について

先の市議会第2回定例会でご承認いただいた新市建設計画の変更については、過日、総務省及び秋田県へ関係書類を提出し、一連の事務手続きが整い、3月17日付けで策定となりました。

これにより、計画期間が平成32年度末まで5年間延長されることとなります。今後は変更計画に掲げた事業の推進に全力で取り組みます。

なお、変更後の新市建設計画は、本日議員の皆様へ配付をさせていただきました。よろしく申し上げます。

◇角館のお祭り新実行組織について

一昨晚、「角館のお祭り第1回新たな組織会議」が開催されました。昨年9月の事故を受け、市民・観光客の安全対策の徹底と、しきたりや伝統を重んじたお祭りとするため、これまでも多くの改善策が決定しています。その中で提案のあった、角館のお祭り保存会などにも参加をいただいで新たな実行組織の立ち上げ準備が進ん

でいます。

先の会議では、その骨子となる会則の協議がなされ、組織図や名称・構成団体・役員数など必要条項の全てを決定いただきました。

この後、構成団体の新年度総会で代表者等が決まりますが、その方々等による新実行組織の立ち上げは、4月中旬頃を予定しています。

◇インバウンド誘客活動について

台湾国立龍^{ろんたん}譚高級中学の生徒35人が、2月24日から1泊2日の日程で仙北市に滞在し、農家民泊と市内観光を行いました。また、2月26日からは田沢湖角館観光連盟と連携し、台湾からの学校関係者5人・旅行会社1人の方をモニターとしてお招きし、修学旅行と同じ行程を体験いただきました。モニターの方々は、学校交流校の相手校となる県立角館高校も訪問いただきました。

また、2月18日から2月25日までの8日間、職員1人が県・東北観光推進機構と共同で、タイ国際旅行フェア(TITF)へ参加し、タイの学校を訪問するなど誘客活動を行っています。引き続き県や県内外の各団体と連携し、誘客活動を強化したいと思います。

◇仙北市産そばの振興について

3月14日、角館交流センターで「第4回そばの郷仙北市タベクラベの会」が開催されました。仙北市では現在数種のそばの栽培が行われていますが、その中の4種の打ちたてそばを味わうことができました。首都圏からの参加者も合わせ、50人の皆様が参加するなど、そば愛好家のみならず仙北市を代表する食のイベントとして定着しつつあります。

主催された遊楽3トピアそば会議は、そば生産者・そば加工者・そば打ち職人等で構成する団体ですが、仙北市産そばの作付面積の拡大、また仙北市全体のPRの好機ととらえ、今後も支援していきたいと考えています。

◇「手づくり郷土賞」国土交通大臣賞受賞について

3月25日、田沢湖庁舎で、平成27年度「手づくり郷土賞（一般部門）」の国土交通大臣賞認定証授与式が行われました。NPO法人癒しの溪流・里・まちネット代表の田口寿宜理事長、また同法人理事の方々が出席され、国土交通省東北地方整備局の桑原徹郎副局長より認定証と記念の盾をいただきました。この授与式には国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所の平野明德所長をはじめ、国土交通省の関係職員の皆様にも出席をいただきました。

この受賞を契機に、NPO法人癒しの溪流・里・まちネットによる、生保内川大暗渠砂防えん堤の利活用が進み、また市では、昭和35年の田沢湖水害、平成25年の先達地区土石流災害などの教訓を生かした防災意識の進展に弾みが付くものと確信しています。

以上、主要事項並びに諸般の報告を申し上げます。

今臨時会で審議をお願いする案件は、補正予算1件です。

慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げます、市政報告とします。